

令和元年度 進捗評価シート
添田町歴史的風致維持向上計画(平成26年6月23日認定)
(最終変更 平成31年3月13日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1. 法定協議会及び支援連携体制について 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1. 英彦山神宮参道保存整備事業・英彦山神宮参道修景整備事業 3
2. 中島家住宅保存修理事業 4
3. 案内板等整備事業 5
4. 普及啓発イベント事業 6
5. まちづくり団体育成支援事業 7

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1. 「史跡英彦山整備基本計画」の策定 8
2. 英彦山庭園群の国指定名勝の指定 9
3. 「日本遺産」への認定申請 10
4. 歴史的建造物の保存・活用の推進 11
5. 文化財の防災に関する取り組み 12

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1. 町広報「歴まちコラム」他 町内歴史文化に関する報道 13

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 14

評価軸①
組織体制

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況

法定協議会及び支援連携体制について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様にまちづくり課文化財係が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。
計画の推進や事業の実施に際しては、国や福岡県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

法定協議会である「添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会」を、令和元年11月19日に開催し、令和元年度実施事業の進捗報告及び令和2年度実施計画について委員からの意見を聴取した。
なお、令和元年度実施事業の進捗管理及び令和2年度実施計画については、3月17日に協議会を開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、書類による意見・指導及び評価をいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第12回 推進協議会(R元.11.19開催)の様子

開催回	開催日	主な議題
第12回	R元. 11. 19(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○【協議】役員を選出 ○【報告】平成30年度 実施事業の進捗評価、中間評価について ○【協議】令和元年度 実施事業の進行管理について ○【協議】令和2年度 実施計画について
第13回	書面による 意見聴取及び 進捗評価	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度 実施事業の進捗評価の進捗管理・評価について ○令和2年度 実施計画について

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

景観法に基づく景観行政団体への移行・景観計画の策定

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本町の山間地域は英彦山をはじめとする豊かな自然に囲まれた集落景観、麓の添田駅周辺は中低層の市街地景観が形成されており、引き続きこれらの景観を維持していく。
特に、重点区域として設定されている英彦山区域や添田本町等区域は、脈々と受け継がれてきた固有の景観を後世に継承していくため、歴史・文化を尊重した景観形成を図ることが求められる。
そのため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画の策定を計画期間内に検討する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

近年、町内の各団体主催で、木や水などの自然保全イベントが開催されるなど、本町の風情・情景を考える機会が増加しており、住民等の本町独自の景観に対する意識向上が図られつつあるように感じている。
そのため、景観保全に対する機運の高まりを、景観行政団体へ移行・景観計画の策定に繋げるよう、庁内の関係各課担当者による協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

水・木など自然景観保持を学ぶの開催状況

開催日	景観に関連したイベント名	主催
R元. 10. 6	木もくまつりinそえだ	NPO法人 アートもん
R元. 11. 24	森林ふれあいツアー	添田町林業クラブ
R元. 12. 8	ふくおか水もり自慢！In英彦山	福岡県



関係各課担当者による景観保全に向けた検討（R 2.3.9開催）

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
英彦山神宮参道保存整備事業 英彦山神宮参道修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成29年度～令和5年度
------	--------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
-------	------------------------

計画に記載している内容	<p>【英彦山神宮参道保存整備事業】 石段や石垣、石塔等の工作物は、歴史的風致形成建造物に指定した上で保存整備を行う。また、これらの工作物の保存に影響を及ぼす参道沿いのツツジ等の低木や宿坊跡の山林等の除去を行うとともに、石垣等を眺められる小広場の整備を行う。</p> <p>【英彦山神宮参道修景整備事業】 歴史的景観を阻害する水道パイプの地中化、歴史的景観を尊重した色彩・デザインを用いた消火設備に修景整備する。また、歴史的景観と調和したデザインの街灯へ順次取り換えを行う。</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度施工分の地先である立石坊付近から英彦山会所跡付近までの延長147mの保存・修景整備を実施し、具体的には、水路:96m、ステップ補修590㎡や手摺:76.1mを設置し、述べ22基の灯籠の補修を行った。(令和2年3月16日竣工)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



令和元年度 工事箇所図(設計時)



工事の状況

水路

階段・ステップ・灯籠及び手摺

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
中島家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和3年度

支援事業名 重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災事業

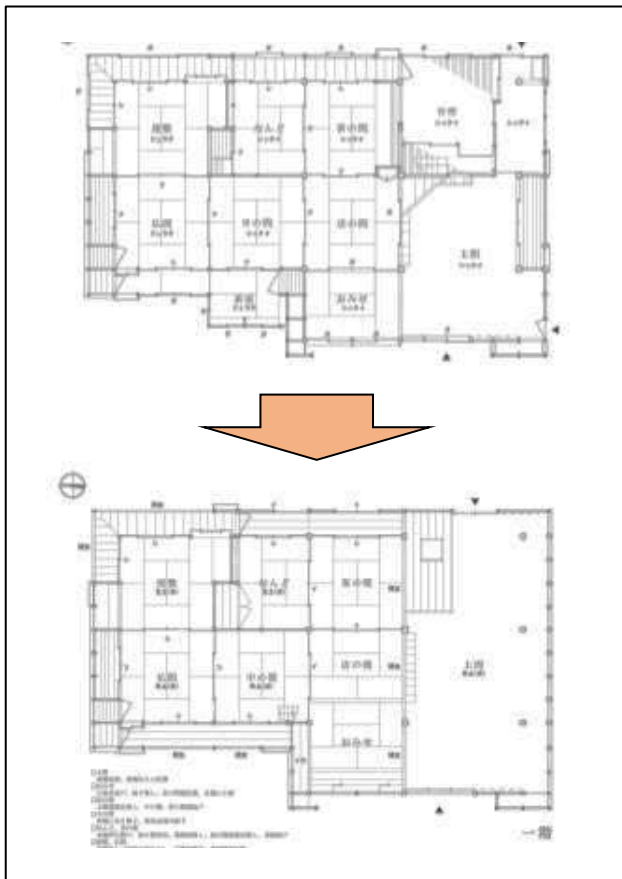
計画に記載している内容 重要文化財に指定されている主屋の保存修理を実施する。また、耐震診断を実施の上、必要に応じて耐震補強を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

本年度については、主屋の木部補修などを主体に壁の基礎となる荒壁塗に取り組み始め、耐震診断に基づく補強材の制作取り付けを一部施工した。醤油蔵・酒蔵については、木部補修と併せ壁の中塗・上塗りの大部分の施工が終了する状況となっており、主屋とも令和3年度の竣工に向けて予定どおりの出来高があがっている。また、昨年同様に工事見学会を開催(令和元年10月5日)、35名の参加があり、中島家への認知向上と併せ、文化財に対する意識向上に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



主屋1階における変遷（上:着工前 下:竣工予定）



主屋東側勝手口より北側を望む(R1.7.2撮影)



工事見学会の様子(R元.10.5開催)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業及び街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等に設置されている案内板や誘導サインのうち、経年劣化等によりその機能を発揮できていない物を除去するとともに、未設置の建造物等も含めてデザイン方針に基づいた案内板等を設置する。併せて、交通結节点等に総合案内板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

策定済の添田町公共サインガイドラインに基づき、重点区域である英彦山区域内に5カ所、重点区域を結ぶ交通結节点に1カ所について設置・取り換え等の整備を行った。(令和2年3月27日竣工)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

種別	設置場所	サイン種別	写真
新規設置	中元寺交差点	自動車誘導サイン	
新規設置	銅鳥居駐車場	周辺案内サイン	
取り換え(撤去・設置)	財蔵坊敷地内	施設説明サイン	
取り換え(撤去・設置)	旧亀石坊庭園入り口	歩行者誘導サイン	
取り換え(盤面取り換え)	銅鳥居下 国道500号沿	周辺案内サイン	
新規設置	奉幣殿下 トイレ付近	歩行者誘導サイン	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
普及啓発イベント事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成26年度～令和5年度
------	--------------

支援事業名	町単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	本町に点在する歴史文化遺産を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、勉強会や講演会等の普及啓発のためのイベントを開催する。
-------------	-----------------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

「歴史的風致報告会」として、歴史指摘風致維持向上計画の周知とあわせ、現在の進捗状況の報告を2回開催した。なお、開催にあたっては、文化財関連講座と同時開催することにより、参加意欲の向上を図っており、特に今年度は、筑豊地域における福岡県民文化祭と同時開催により、町内外の多くの観覧者に対し、本町の歴史的風致に関する取り組み状況を報告することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



歴史的風致報告会

R元.7.27開催 歴史的風致報告会の様子



同時開催講座



歴史的風致報告会 (R元.11.23開催)

左：開催チラシ
右：段上教授の講座

日時	同時開催内容	参加者数
令和元年7月27日(土)	講座：添田町の庭園について 講師：添田町まちづくり課 副課長 岩本 教之 学芸員	29名
令和元年11月23日(土)	講座：豊前地域の民俗芸能 『第27回ふくおか県民文化祭』 講師：別府大学 文学部 史学・文化財学科 教授 段上 達雄 氏	約375名

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
まちづくり団体育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成27年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
計画に記載している内容	本町に点在する歴史文化遺産を保存・活用するため、歴史文化遺産の保存・活用に係る文化財保護・まちづくり団体の活動経費の一部について、助成金を交付し支援する。

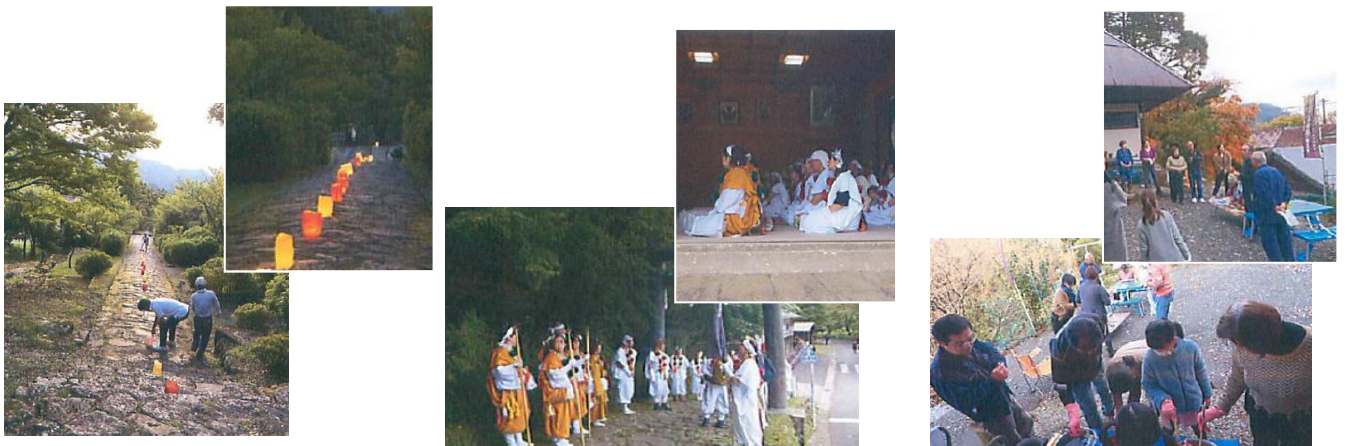
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「まちづくり団体設立支援事業(H27～H29)」により設立された2団体が取り組む以下の「まちづくり」活動に対し、補助金の交付により支援を行った。

- 【英彦山門前町同好会】……………歴史勉強会、参道・空き坊舎の清掃、体験イベント(ひこさん山伏探訪・草木染体験会など)の開催、お盆の参道の灯籠飾り など
- 【重文・中島家住宅推進協議会】…歴史勉強会、おもてなしのためのプランター植栽、先進地視察

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



英彦山門前町同好会の活動の様子

R元.8.13 参道灯籠祭り

R元.9.7 ひこさん山伏の里探訪

R元.11.24 草木染体験会



重文・中島家住宅推進協議会の活動の様子

R元.11.4 花の植え込み

R元.11.28 玖珠町視察

R元.12.4 プランター花壇展示

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
「史跡英彦山整備基本計画」の策定		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

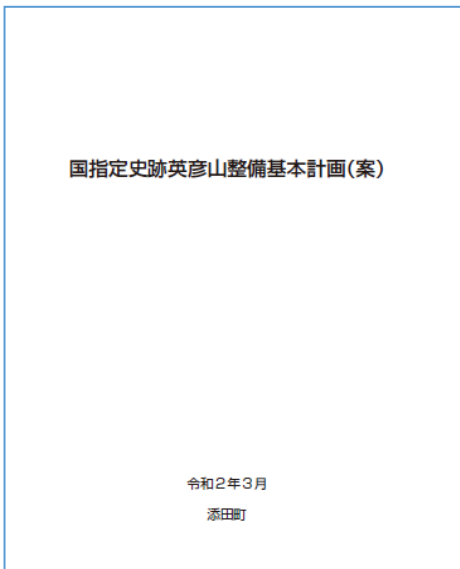
計画に記載している内容 有形文化財の保護にあたっては、文化財の指定後の適切な保存管理や活用が図られるよう、文化財毎に保存活用計画の策定を進め、保存活用計画に基づき修理・整備、防災対策等を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

史跡英彦山について、「添田町史跡英彦山保存活用計画(平成30年度策定)」の基本方針に基づき、史跡英彦山の適切な保護と、史跡を公開活用するために、長期に渡る段階的な整備計画を見据えた上で方針を示し、地区ごとの必要な整備項目と内容を明示した「史跡英彦山整備基本計画」を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



策定した整備基本計画書（表紙）



委員会の様子

左上：第1回 R元. 9.10
 右上：第2回 R元.11.18
 左下：第3回 R2. 3. 5

開催回	開催日	主な議題
第1回	R元. 9. 10(火)	○策定スケジュールの確認 ○計画書の構成について ○「保存活用計画」における現状と課題、整備の方針の確認 ○「4. 理念と方針」について ○「5. 整備基本計画」について
第2回	R元. 11. 18(月)	○計画書の目次案について ○「4. 理念と方針」について ○「5. 整備基本計画」について
第3回	R2. 3. 5(月)	○パブコメの実施結果について ○「国指定史跡英彦山整備基本計画(案)」について

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
英彦山庭園群の国指定名勝の指定		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 今後も地域に存在する指定・未指定の文化財の実態を把握する取組みを進めるとともに、本計画における保存・活用の方策を講じる他、文化財として新たに指定すること等により、文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

英彦山には、旧亀石坊庭園が国名勝に指定されているが、その他にも多くの宿坊庭園が群在している推測されていたものの、その多くが高齢・過疎化による荒廃により、分布状況や庭園としての価値が判明していなかった。しかし、平成28年度～30年度の分布状況及び主要庭園の実測調査を行った結果、60を超える庭園があり、旧亀石坊庭園以外にも英彦山庭園文化の様相を知るうえで貴重な6つの庭園が現存していることが判明した。それらの庭園について、国指定史跡の一要素とするのではなく、別途、名勝としての国指定に向けて文部科学大臣に意見具申を行ったところ、文化審議会において『日本庭園史においても極めて重要』との答申により、令和2年3月10日に6つの庭園の追加と、それに伴う国指定名勝の名称が「旧亀石坊庭園」から『英彦山庭園』へと変更となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

指定名称：旧亀石坊庭

構成庭園：旧亀石坊庭園
 指定年月日：昭和3年2月7日指定

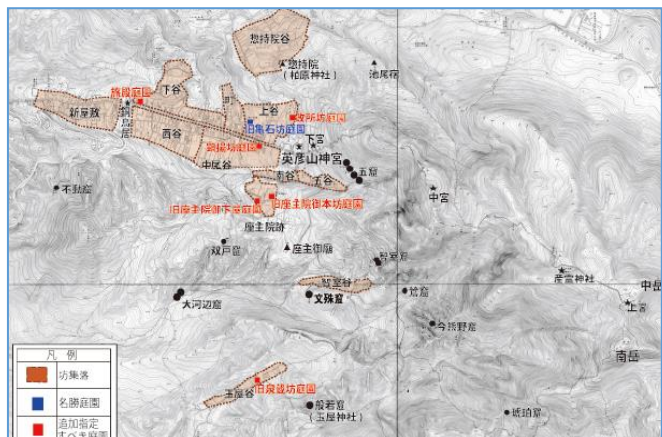
庭園の追加

ざすいん ごほんぼう	まんどころぼう
旧座主院御本坊庭園	旧政所坊庭園
ざすいん おしもや	せんぞうぼう
旧座主院御下屋庭園	旧泉蔵坊庭園
りょでん	けんようぼう
英彦山神宮旅殿庭園	旧顕揚坊庭園

名称変更

指定名称：英彦山庭園

構成庭園：旧亀石坊庭園
 ざすいん ごほんぼう
 旧座主院御本坊庭園
 ざすいん おしもや
 旧座主院御下屋庭園
 まんどころぼう
 旧政所坊庭園
 せんぞうぼう
 旧泉蔵坊庭園
 けんようぼう
 旧顕揚坊庭園
 りょでん
 英彦山神宮旅殿庭園



指定年月日：昭和3年2月7日指定
 （追加指定：令和2年3月10日）

追加指定理由：追加指定する6つの庭園は、修験の霊地である英彦山中世から近世にわたって営まれてきた庭園文化をよく伝えており、日本庭園史上極めて重要で、芸術上及び学術上の価値が高いことから「英彦山庭園」として包括的な保護を図るため

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
「日本遺産」への認定申請		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本町の文化財は、これまで活用が効果的に行われていなかった状況もあり、本町内外の人々の文化財に対する認識が低下していることから、より多くの人々に文化財の存在を知ってもらい、理解してもらう機会を提供する、普及・啓発の取組みが重要である。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

英彦山を中心とし、求菩提山(豊前市・築上町)、普智山(苅田町)、蔵持山(みやこ町)、松尾山(上毛町)、福智山(福智町)、桧原山(中津市)の「豊前英彦山六峰」には、英彦山修験道の流れを汲む御田植祭などの松会行事や修行窟、坊跡など多くの修験道関連遺跡が残され、現代まで続く信仰対象として、地域の大切な文化遺産として守られている。

これらを豊前地域の霊山に息づく文化を「山神の聖地「英彦山」～豊前英彦山六峰の山里に息づく山神への祈り～」としたストーリー・結び付けを行い、令和2年1月17日に日本遺産登録を目指し申請を行った。

また、本町の生活圏となる田川市・郡においても、かつて近代化を支えた石炭鉱山とともに、多くの信仰を集めた英彦山などの「山」について、『ヤマのマチ「豊前田川」～今も続くヤマとの歩み～』としたストーリーの整理を行うなど、日本遺産申請を協働で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

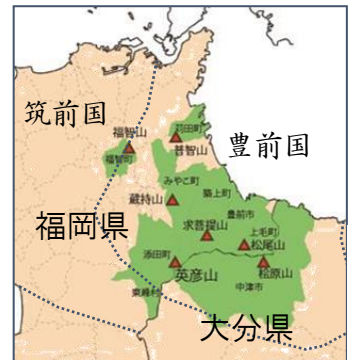
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

山神の聖地「英彦山」～豊前英彦山六峰の山里に息づく山神への祈り




申請市町村名：福岡県添田町(代表)、
 同福智町、同豊前市、
 同みやこ町、同苅田町、
 同苅田町、同上毛町、
 同築上町、同東峰村、
 大分県中津市

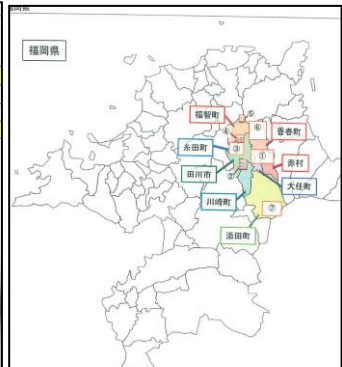
① 申請者 福岡県(苅田町、豊前市、みやこ町、苅田町、上毛町、福智町、築上町、東峰村) 大分県(中津市)	② タイプ A B C D E	地域型 / <input checked="" type="checkbox"/> リアル型
③ タイトル 山神の聖地「英彦山」～豊前英彦山六峰の山里に息づく山神への祈り～		
④ ストーリーの概要(2000字程度) 我が国を代表する山岳修験の山「英彦山」がある豊前地域では、「彦山神」を中心とした山神を崇拝・敬慕して、山伏たちが祈りを捧げた豊前修験道独自の文化が息づいている。その遺跡として豊前英彦山の峰の山で1000年続く修験道場「松立」神事が行われている。早朝、大蛇神の下で豊饗を祈り、山神が神輿に乗って山から下ると、谷あいの村々では早田に御田植を行う日本の原風景が現れる。豊前地域の山里には山神権徳の霊を祀る御田植祭、豊か収獲を祝い、繁栄する里人たちの舞が奉納され、山神に感謝する祈りの物語が今も続いている。		
  		



ヤマのマチ「豊前田川」～今も続くヤマとの歩み～

申請市町村名：田川市(代表)、
 田川郡香春町、
 同添田町、
 同糸田町、同川崎町、
 同大任町、同赤村、
 同福智町

① 申請者 田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町	② タイプ A B C D E	地域型 / <input checked="" type="checkbox"/> リアル型
③ タイトル ヤマのまち「ぶぜんたがわ」～いまもつづくやまとのあゆみ～ ヤマのまち「豊前田川」～今も続くヤマとの歩み～		
④ ストーリーの概要(2000字程度) 田川地域では炭山もヤマであり、英彦山もヤマ、石炭鉱山もヤマと呼ばれます。古代よりヤマの開拓が盛んに行われ、銅や石炭、石灰石など多くのヤマの恵みを受けてきました。ヤマからの豊かな恵みはいつしか信仰へと変わり英彦山に代表されるヤマへの崇拝と変わり特異な文化が花開きました。『豊前国風土記』にも記され、「異様な山」(香春岳)からはじまったヤマと人の営みの物語は今も続いている。山本兵衛コレクション、香春岳(昭和初期)、炭坑跡の祭り		
  		



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

歴史的建造物の保存・活用の推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

指定文化財以外の建造物は、本計画に基づく歴史的風致形成建造物に指定するとともに、添田町文化財保護条例に基づく文化財の指定を検討し、今後の保存・活用を図る。また、添田公園は、岩石城跡が立地する岩石山麓に整備された公園として、散策路の整備を図る。特に、英彦山に点在する修験道にまつわる遺跡は、重要な文化財として文化財保護法に基づく堅実な保存・活用を図る。
 損傷が進行しているこれらの建造物は、所有者等の修理への支援策を講じることで所有者の負担を軽減して保全を図り、所有者や周辺住民等と協働により維持管理や活用を検討する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

文化財に対する意識向上を養うため、重要文化財 中島家住宅の管理のため、「重文・中島家住宅推進協議会」を中心とした地域住民に草刈り委託をし実施された。(年3回)
 また、県指定史跡 庄原遺跡については、隣接所有者に日常的管理を委託しており、町指定史跡 英彦山大河辺山伏墓地についても、地元英彦山青壮年会による草刈りを依頼し実施(年1回)した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



重文・中島家住宅推進協議会による中島家住宅の草刈り



草刈り後(7月)の県指定史跡 庄原遺跡



町史跡 英彦山大河辺山伏墓地での草刈り
(R元.10.13)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の防災に関する取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容	防災教育・訓練は、文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発と防災教育に取組み、文化財防火デーには、町消防団と連携して文化財施設での消火訓練を実施する。
-------------	------------------------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「秋の防火週間」である11月9日(土)に、消防署と地元消防団により、消防車両から防災放送しながら町内をパレードするとともに、有形指定文化財の防災設備等の再確認を行った。
 また、令和2年1月26日(日)にも、消防署と連携し、文化財への防災と文化財予防デーの周知・啓発を図るため、町内パレードとともに、国指定重要文化財の防災設備等の状況について再確認を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



消防署と地元消防団による「県指定民俗文化財 財蔵坊」の現地調査
 (R元. 1 1. 9 : 「秋の防火週間」)

評価軸⑤
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和元年度 掲載紙等
英彦山神宮神幸祭	H31. 4. 14・17	毎日新聞、朝日新聞
記者有情ヤマザクラ(吉木のヤマザクラ)	H31. 4. 16	毎日新聞
添田の神幸始まる 子供たち「樂打ち」見事に奉納	R元. 5. 4	毎日新聞
英彦山神輿会が朝倉に義援金	R元. 5. 9	読売新聞
英彦山参詣古道を歩こう	R元. 5. 10	西日本新聞
国指定名勝8庭園提携	R元. 5. 14	西日本新聞
英彦山清掃登山	R元. 5. 14	毎日新聞
英彦山駆け上がり大会	R元. 5. 18	読売新聞
英彦山山開き	R元.5.24・27	西日本新聞
英彦学園が彦山駅を継続清掃	R元. 6. 5	西日本新聞
英彦山神宮クラウドファンディング目標額達成	R元. 7. 10	西日本新聞
英彦山参道駆け上がり大会	R元. 8. 12	西日本新聞、読売新聞、毎日新聞
英彦山周辺巡るスタンプラリー	R元. 10. 1	読売新聞
英彦山参詣古道散策	R元.10.8・9	読売新聞、西日本新聞
田川市で英彦山をテーマとした古代史講座開催	R元. 10. 17	西日本新聞
英彦山庭園名勝答申	R元. 11. 16	西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞
名勝庭園バスツアー	R 2. 1. 21	西日本新聞
九州オルレ(番外編) 今も伝わる先達の知恵	R 2. 2. 29	西日本新聞
歴まちコラム ～歴史と文化のふる里探訪～		
添田出身説の剣豪 佐々木小次郎の謎に迫る	4月号	町広報誌
小次郎のライバル 宮本武蔵の養子と英彦山	6月号	
江戸時代に町内で書かれた『大庄屋 中村家御用日記』	8月号	
天孫降臨で道案内した天狗や鬼のような姿の神様	10月号	
六庭園が英彦山庭園として名勝の追加指定へ	12月号	
色彩豊かな絵巻で描写 英彦山修験道の祭事	2月号	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

英彦山の神幸祭など英彦山地域を中心に本町の歴史的風致関連記事が、述べ29件掲載された。
 なお、この他にも、シャクナゲの見ごろや英彦山の積雪の記事も掲載されるなど、自然・季節に関する記事も多く取り上げられており、中には住民等の投稿により記事があるなど、本町の風景を含めた歴史的風致に対する関心の高まりが感じられるようになっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



町広報 歴まちコラム

4月号 6月号 8月号 10月号 12月号 2月号

著作権保護のため、新聞記事は掲載していません。

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和元年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和2年4月8日(水)から令和2年4月30日(木)までの書類による意見聴取	
(コメントの概要)	
<p>意見①: 『英彦山神宮参道保存整備事業』・『英彦山神宮参道修景整備事業』について、参道側溝のコンクリート板は安易で景観に不相应である。自然石の利用が望ましいと思われる。</p> <p>意見②: 『案内板等整備事業』に関連して、サインの内容が古い情報のまま(休館しているしゃくなげ荘など)になっているところがあるので、修正した方がいいのではないかと？</p> <p>『効果・影響等に関する報道』の「町広報誌への歴まちコラム」はぜひ連載をつづけていただきたい。地域の人々も知ってるようで知らなかったり、知ってることが掲載されて自慢になったりと、多くの効果が望める。また、続くことで文化財継承に係る資料にも繋がると思う。</p> <p>全体的に、計画に則り事業は着々と進行しているようで喜ばしいことだが、行政だけでやっていると、年度内でやるべきことが決まっていることを、単に事業遂行に“チカラ”を注ぎがちであるが、当初イメージしていた歴史的風致に近づいていると感ぜられるか？そして、住民の方々と</p> <p>意見④: 協働での取り組みが醸成されているか？を顧みることが必要だと思う。 住民の方々との協働の取り組み・理解が得られないまま事業を遂行してしまうと、今後の事業減速もあり得ると思う。 但し、住民の方が疲弊しないような事業コントロールと配慮もお願いしたい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>『英彦山神宮参道保存整備事業』等における参道側溝施工については、参道散策者から見える範囲は、可能な限りコンクリート板の表面に自然石を貼付するなど、景観に配慮した施工を</p> <p>対意見①: 基本としている。 ただ、底面については、落葉の救い上げを容易にするとともに、雨水などを円滑に流水するためコンクリート施工となっていることにご理解をいただきたい。</p> <p>「しゃくなげ荘」の現任の方針・取り扱いは「休止」であることから、撤去等は行っていない。</p> <p>対意見②: しかし、今後、「しゃくなげ荘」を含めて他の施設においても、廃止等となった際には、適宜、看板のト書き等 適切に対応を行う予定としている。</p> <p>『効果・影響等に関する報道』の「町広報誌への歴まちコラム」については、指定文化財だけでなく地域に伝わる歴史・伝統に視点を置き書いているため、町民も身近に歴史・文化を感じられているようで好評を得ていることから、今後も継続していく予定である。</p> <p>本町においては、普及啓発イベント事業(添田町-5)での「歴史的風致報告会」で進捗状況の報告と併せ、参加者から意見を伺う場を設けており、併せて、歴まち計画の重点区域において、歴史文化を活かした“まちづくり”を実践する団体(まちづくり団体育成支援事業(添田町-6))とは、連携を図りつつ事業に対する意見等を伺う場を設けている。</p> <p>対意見④: しかし、一部の事業については、批判的意見があるのも事実であるが、継続した説明とともに、整備した歴史的風致について、観光等に活用することができれば本計画の目的達成にも寄与できるため、今後も住民等との連携・協働により事業を行うこととしている。</p>	